

CVポート埋設術についての説明・同意書

<末梢血管からの点滴について>

末梢血管からの点滴は一般的に行われていますが、血管が薬の刺激を受けやすく、使用する薬によっては痛みを伴う場合があります。そのため、CVポートを埋設して治療を行うことがあります。

<CVポートからの点滴について>

CVポートは、心臓に近い、中心静脈にチューブ（カテーテル）を挿入し、そこから薬を注入します。心臓付近の血管は腕の血管に比べ血流量も多いので、薬の刺激を受けにくい方法となり、頻回な血管の穿刺を行う必要がありません。処置は順調に進みますと5-10分程度で終了します。

<CVポート埋設術についての合併症>

出血、気胸、血胸、感染、血栓、皮膚感覚・運動障害、心筋梗塞、脳梗塞等
CVポート埋設術については以下のような合併症も起こる可能性があります。

<挿入時の合併症>：針を刺してカテーテルを挿入する際に、針が動脈や神経にあたり傷つける場合があります。その場合、出血については圧迫止血処置を行い、神経障害は穿刺時に痛みや痺れを伴いますので、挿入時に未然に防ぐように適切な対応を行います。針を刺してカテーテルを挿入する際に、針が肺にあたり肺を傷つける場合があります。ドレナージ等の適切な処置を行います。

<挿入後の合併症>：体内でカテーテルが破損することがあります。カテーテルを抜去します。感染やカテーテル周囲の皮膚トラブルを起こすことがあります。適切な処置を施しますが、カテーテルを取りだすこともあります。カテーテルが血液などで詰まってしまう場合があります。適切な処置を行います。カテーテルを抜去することもあります。

<CVポートからの治療>

CVポートからは様々な治療や検査が行えます。抗がん剤の投与、栄養点滴の投与、採血や輸血、造影CT検査等の治療や検査が可能です。

説明内容：CVポート埋設術に関する必要性・合併症など。

年 月 日



AMS Atlas Medical Service
きしクリニック札幌

医師 印

私は、上記内容の説明を受け、CVポート埋設術を行うことに同意しました。

年 月 日

患者 氏名

患者代理人 氏名